

News Letter

ニュースレター

2023.9 → 2024.2

Activity Report

2023.11.18、2024.2.24

オープンキャンパス2023

各領域棟の女性休憩室の見学会と教職員向けの無料託児を実施しました。



https://www.naist.jp/gender/contents/gender/activity_results/

2023.10.6

第13回けいはんな女性研究者ネットワーク茶話会を開催

けいはんなプラザ11階交流室「天の川+PLUS」にて開催しました。大人15名、子ども3名が集まりました。参加者はそれぞれの職場の就業環境や、女性管理職増加に向けた取り組み、企業内保育所の整備状況、出張時の保育サービスの有無等について情報交換を行いました。



https://www.naist.jp/gender/contents/keihanna_network/keihanna_network_r/

Contents

Vol.45
2024.03

Activity Report

オープンキャンパスで女性休憩室の見学会と教職員向け一時託児を実施
けいはんな女性研究者ネットワーク茶話会開催

Information

State of Progress of the Declaration of Co-creative Community / 共創コミュニティ宣言アクションプランの取り組み進捗
Gender, Gender Identity etc. Questionnaire 2024 / SOGI等に関する課題把握調査を実施

Event Report

SDGs×CDG セミナー特別企画「障害分野に焦点化して『誰一人取り残さない』を考える」
男女共同参画推進セミナー「東南アジアの理工系大学における男女共同参画」

2024.2.2

第50回けいはんな若手研究者交流会 & 茶話会を開催

けいはんなプラザ11階交流室「天の川+PLUS」にて開催しました。けいはんな女性研究者ネットワークより、井上美智子教授が「けいはんなのネットワークで得られたこと」と題した講演を行ったあと、参加者同士でグループトークを行い、それぞれの職場の就業環境や今後のネットワーキングに向けた情報交換を行いました。



https://www.naist.jp/gender/contents/keihanna_network/keihanna_network_r/

INFORMATION

State of Progress of the Co-Creative Community Declaration Action Plan / 共創コミュニティ宣言アクションプランの取り組み進捗

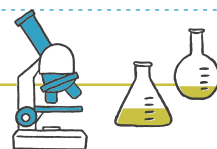
日本語版 https://www.naist.jp/gender/declaration_progress.html

English ver. https://www.naist.jp/gender/declaration_progress_en.html

Please fill out!

Gender, Gender Identity etc. Questionnaire 2024
SOGI等に関する課題把握調査 2024を実施

学内通知するURLよりご回答ください。



Event Report

SDGs×CDG セミナー特別企画

「障害分野に焦点化して『誰一人取り残さない』を考える」を開催

共創コミュニティ宣言に基づき、多様なアイデンティティや多彩なバックグラウンドをもつ学生や教職員が、安心して学び、働き、能力を発揮できる環境を作るため、本年度は、障害分野に焦点化して、四回のセミナーを開催しました。

対象：教職員、学生（学内限定）

※「デジタルグリーンイノベーション特別講義」「キャリアマネジメント1、2」として開講

主催：奈良先端大デジタルグリーンイノベーションセンター

共催：奈良先端大先端科学技術研究科情報科学領域、男女共同参画室

本セミナーのオンデマンド配信視聴をご希望の方は、

cdg-staff@cdg.naist.jp までご連絡ください(学内限定)。

【第1回】2023年11月30日(木) 17:00-18:30 ハイブリッド開催
「障害のある研究者とともに研究生活を送るための知識を得る」
講師：二階堂 祐子 氏(奈良先端大男女共同参画室UEA)、得能 想平 氏(奈良先端大デジタルグリーンイノベーションセンター助教)

【第2回】2023年12月5日(火)17:00-18:30 オンライン開催
「障害のある研究者とともに研究生活を送るための知識を得る」
講師：並木 重宏 氏(東京大学先端科学技術研究センター准教授)、網代 広治 氏(奈良先端大物質創成科学領域教授)

【第3回】2024年1月9日(火) 14:00-15:30 オンライン開催
「自身の研究と障害の接点を探る」
講師：田中 真理 氏(九州大学基幹教育院 自然科学実験系部門教授、キャンパスライフ健康支援センターインクルージョン支援推進室室長)

【第4回】2024年1月11日(木)17:00-18:30 オンライン開催
「障害に関する研究の蓄積に配慮できるようになる」
講師：辰己 一輝 氏(大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程)

第14回奈良先端大男女共同参画推進セミナー

「東南アジア理工系大学における男女共同参画の取り組み」

日時・形式 2023年10月23日、日英同時通訳付、オンライン
主催 奈良先端大先端科学技術研究科情報科学領域、男女共同参画室
共催 奈良先端大デジタルグリーンイノベーションセンター

マレーシアとタイの大学の工学系学部より本学修了生を講師として招き、両国のジェンダー平等をめぐる政策、大学の仕事と子育ての両立支援や理工系人材の次世代育成等の取組についてご講演いただきました。

マレーシア工科大学デジタルサービス学部准教授のOoi Chia Yee氏は、マレーシアでは政策の後押しにより工学系学部に進学する女子学生は36% (2022年)と年々増加していること、いっぽうで女性教員の教授比率は低調であること、ただし教員間のメンタリングやコーチングの機能によりキャリアアップを果たす例もあること等を報告されました。

タイのマヒドン大学情報通信技術学部コンピュータサイエンス学科准教授のVasaka Visoottiviseth氏は、タイでは高校入学時に選択する教育プログラムが理系、文系、文理融合に分かれており、融合プログラムは7対3で女子学生に選ばれていること、大学進学率は女性の方が高いこと、そしてタイのダイバーシティは、LGBTQコミュニティの包摂、共働き家庭の標準化、大家族での子育て等により醸成されていると報告がありました。

ディスカッションでは、理工系分野の女子学生在籍率や、女性教員のキャリアアップがテーマとなりました。司会の岡田教授が、本学の情報科学領域の女子学生比率(修士課程9.6%、博士課程18.4%(2022年))を紹介し、講師2名に比率向上に向けた取組の助言を求めたところ、中学や高校を積極的に訪問し、ミニ講義等を女子大学院生が担当と中高女子学生のロールモデルとなり有効とのコメントをいただきました。塩崎学長が、女性教員のキャリアアップを阻む要因をOoi氏に問うたところ、昇格のために海外出張を多くこなさなければならないことが女性にとっての困難のひとつと応答がありました。学長からは、日本では女性も男性も理工系の進路を希望する生徒の割合が低調であること、いっぽうで2023年にスタートしたJST次世代技術チャレンジプログラムNAIST STELLA参加者の40%は女子学生であったこと等の紹介もありました。

<https://www.naist.jp/news/2023/10/010295.html>

